

わたしの 妊娠報告書

記載日 2010年7月5日

おめでた宣言日	平成 22年 7月
年齢 (39歳)	平成 (18)年 (10)月 結婚
私は (顕微授精)) で妊娠しました。

不妊治療歴	
(1) 年 (7) ケ月 (うち ASKA で9ヶ月)	
他院での治療歴	
あり→内容 (中国の病院で主人の精子検査、本人の血液検査、卵管通水検査、排卵誘発剤を使ったタイミング法など)	
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	0回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	0回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工受精	0回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工受精	0回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	0回
<input type="checkbox"/> 体外受精	0回
<input type="checkbox"/> 顕微受精	採卵1回 初期胚移植1回 凍結胚盤胞移植1回

妊娠の秘訣・心がけていた事

最初はお酒をやめた程度で、普段と変わりなく生活していました。

最初の胚移植が初期流産で終わってしまったときから、コーヒー、紅茶、緑茶などカフェインの入ったものは飲まないようにして、ハーブティーもやめました。また、次の胚移植までの間、一日30分～1時間程度散歩をしたり、体操をしたりして、体重も2キロほど落としました。不妊治療を始める前から、太り気味・運動不足気味だったので、2ヶ月ほどの間でしたが、運動したのはよかったかな、と思います。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦勞話

治療内容

中国の病院では、先生に不妊治療の知識がなく、治療に一貫性がありませんでした。もっと早く転院するべきだったのですが、こちらで初めての不妊治療で、右も左も分からないまま、1年近くを浪費してしまいました。この間は、先生のおっしゃっていることを信じていいのかわからない、不安でいっぱいでした。

その後 ASKA の HP を通じて中山先生に相談したところ、すぐに親身なアドバイスをいただけたので、帰国して ASKA で治療を受ける決意をしました。ASKA では、治療内容もきちんと説明していただきましたし、スタッフの皆さんの対応も流れるようにスムーズで、不安は全く感じませんでした。

その他（通院・治療費・家族など）

治療費は特定不妊治療費助成がおりたので、考えていたよりは少ない費用で済みました。中国から帰国して実家から通院したため、父母が何かと気をつけて「重いものを持つな！」「高いところの物を取るな！」などと神経質になっていたのが、少しストレスでした。ですが、父母の協力のおかげで治療を続けることができたことに感謝しています。主人は中国に残してきたので、3度ほどこちらに来ただけですが、普段はメールで治療の苦勞をねぎらってくれました。

治療中の方へのアドバイス

毎月毎月、「今回こそは？」と期待しては、生理が来て涙するという繰り返しで、嫌になったこともありました。

最後のほうは、「生理来た日はお酒飲んじゃえ」とか「今回ダメなら、次の採卵までに旅行に行こう！」とか、ダメだった時にも嬉しい特典をつけて楽しむようにしました。我慢ばかりじゃ辛いですから、自分を甘やかすのも時には必要かなと思います。

スタッフへのご意見など

前の病院の検査が驚くほど痛かったこともあり、ASKA で顕微授精と言われたときには、採卵も胚移植も本当に恐ろしかったのですが、中山先生の処置はすごく手速く、看護婦さんも手を握ってくださったりして、ほとんど恐怖を感じませんでした。（採卵のときには麻酔が効いて眠りこけていましたが・・・）先生もスタッフの皆さんも、どんなときでも親切で優しく、病院内も快適で、多少待たされてもぜんぜん平気でした。

ASKA で治療を受けられて、本当によかったです。これからも、お体には気をつけて、たくさんの方に幸せを届けてください。

ありがとうございました。

.....